

見つけた！ココに沖縄の木

WOOD LIFE
IN
OKINAWA

石垣市役所 新庁舎

石垣市
石垣市真栄里 672 ☎0980-82-9911
設計／隈研吾建築都市設計事務所・洲鎌設計室 JV



島の独自性を表す建物に

赤瓦と琉球石灰岩、そしてリュウキュウマツが印象的な石垣市役所は、2021年11月の移転に際し、その設計を世界的に有名な建築家、隈研吾氏が手がけました。隈氏は沖縄らしい建築資材にこだわリ、特にリュウキュウマツは内装のメインとしてふんだんに使ったこと。入り口を入ってすぐの場所にあるロビーの壁に装飾として使われているほか、議場の各ブースや壁に取り付けられたサインや仕切りなど、内装デザインのアセントとして、リュウキュウマツを効果的に使っているのが印象的です。

1. 寛ぎが感じられるスペース。リュウキュウマツの板材をつなぎ、幅や長さに変化をもたせたリズム感のあるデザイン。
2. 本物の八重山上布がアクセント。議長の背景にはリュウキュウマツのパネルも設置。
3. 平行に走るリュウキュウマツのデザインは幅がランダムのため空間にリズムが。

外観を見た時に真っ先に目につく大きな赤瓦屋根のほか、議場のブースにあしらわれた石垣の伝統的な織物「八重山上布」、ソファに使われた石垣牛の牛皮など、建物にはリュウキュウマツだけでなく、石垣ならではの素晴らしい文化も取り入れ、経年変化を楽しめるものが採用されたとのこと。建て替えられた石垣市役所は、島のアイデンティティを後世へと伝える建物になりそうです。

沖縄県立図書館

那覇市
那覇市泉崎 1-20-1-3F ☎098-894-5858
制作／キハラ株式会社



木の温もりを「知の拠点」に

2018年、旭橋再開発事業区域に完成した「カフィーナ旭橋A街区」に同年12月、沖縄県立図書館がリニューアルオープンしました。3〜6階の図書館エリアの総面積は約1万3千平方メートル。旧図書館に比べ約3倍の蔵書が可能になりました。那覇バスターミナルや商業施設が併設された複合施設内に開館したことで、今後、さらに利用者が多くなることが期待されています。

- 1,3. 県立図書館エントランスおよび、各階に設けられたインフォメーション・サービスカウンターにリュウキュウマツを使用。2,3階にある読み聞かせ室「おはなしの森」に設けられた木をかたどった絵本棚にもリュウキュウマツを使用。

マツの自然な木目を生かしたデザインが、木の温もりを感じさせます。ほかにも、3階の読み聞かせ室では、大きな木をかたどった絵本棚があり、ここでもリュウキュウマツが使われています。伝統と新しさが融合する新しい「知の拠点」として開館した県立図書館。沖縄県産木材が図書館を利用する皆さんに親しまれ、快適に利用できる空間づくりに役立っています。

イオンモール沖縄ライカム

北中城村
北中城村ライカム1 ☎098-930-0425
制作／株式会社ブルーム、工房島変木、国頭村森林組合、企業組合キンモク、インテリアン



買い物ついでに木の魅力に触れる

2015年に当時、県内最大規模のショッピングモールとして北中城村にオープンしたイオンモール沖縄ライカム。地元客だけでなく、国内外からの観光客も多く訪れる人気のスポットです。日々たくさんの方が集まるこの場所に、沖縄の木を使った家具を常設展示する「おきなわの木」休憩スペースが設置されています。

ただの展示ではなく、実際に座って、沖縄の木に触れて、その使い心地を試すことができるこのスペース。リュウキュウマツやセンダン、クスノキなど、家具や雑貨によく使われる沖縄県産木材を使っ

1. 広いスペースに沖縄県産木材を使ったテーブル&チェアセットを実際に座ることもできるかたちで設置。見た人が沖縄の木を使った家具を生活の中で使うイメージがしやすいスペースに。2. 使うたびに木目の美しさを楽しむことができるテーブルやチェア。3. わかりやすい説明も設置。

たテーブルとチェアを3セットほど設置し、寛げる空間に仕上げています。買い物で歩き疲れた時、この場所に座って少し休憩することで、沖縄の木のいい香りやなめらかな触り心地、自然に包まれるようなその心地良さと癒しを体感し、その素晴らしいことを知ってもらうことがこのスペースを設けた目的。沖縄の木の魅力を堪能することができます。

みやこ下地島空港ターミナル

宮古島市
宮古島市伊良部字佐和田 1727 ☎0980-78-6606
制作／宮古木工芸



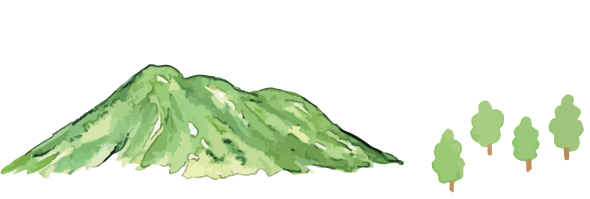
県産木材で思い出に残る空間づくり

空港内の大きな天井一面に木材を使用している、みやこ下地島空港ターミナル。関東や関西の空港を往復する国内線など、地元客や旅行者が利用するこの空港は、たくさん

の県産木材が使われています。出発前の旅客が寛ぐチェックインエリアのカフェスペースには、テリハボクの一枚板を使用したハイテーブル。国内線の待合スペースでひととき存在感を放っているのは、美しい木目のテリハボクの丸太を大胆に使ったバーカウンター。国内線の待合スペースの奥に設けられたディスプレイスペースには、テリハボクの木で作られたイスも置か

1. 空港内のチェックインエリアの大きな天井には地元の木材が多く使われています。2. 国内線の待合スペースにある8mのバーカウンターはテリハボクの丸太を角材に加工し、16本も使用。3. チェックインエリアのカフェスペースのハイテーブルには約4.5mのテリハボク一枚板を天板に。

れています。ハイセンスな空間をより一層輝かせる存在として、県産木材の家具が役買うことができたのは、インテリアデザイナーが家具の製作者と何度も打ち合わせ、素材である木の魅力をできるだけ引き出したいとの思いがあったからだと言えます。県産木材が使われた空間は、旅の一つの拠点として過ごすスペースの最高のおもてなしにつながっています。



国頭村役場

国頭村

国頭村辺土名 121 ☎0980-41-2101

設計／(株)国建、(有)アカイ建築設計事務所、
(株)大富建設コンサルタント設計業務共同企業体



地場産業の林業に触れる機会を

世界遺産に登録されたやんばるにある国頭村。2021年1月から使用が開始された新庁舎には、リュウキュウマツをはじめ、イスノキ、イタジイ、イジユ、イヌマキ、センダンなどさまざまな木材が使われています。使用している木材の多くは、国頭村の中で生産・加工されたものとのこと。

役場を訪れる一般の方々がまず最初に目にするのがイヌマキの柱。そして、窓口の仕切りに使われているのはリュウキュウマツ。樹皮を残すことで自然な風合いがさらに強調されるデザインが採用されています。また、福祉課のカウン

1. 入った瞬間に圧倒されるほど、リュウキュウマツが壁やデスクにふんだんに使われた国頭村役場の議場。2. エントランスにはイヌマキを使った掲示板が。3. 樹齢200年を超える一枚板のリュウキュウマツのカウンター。来庁者の目に止まるよう窓口に使用。

ターは必見。以前、台風で倒れてしまった樹齢200年以上にもなる貴重なリュウキュウマツを使い、見事な一枚板のカウンターに仕上がっています。

来庁者の目に触れるところに、国頭村をはじめとする県内で育った木材をたくさん使うことで、地場産業である林業への関心が高まることを期待しているとのこと。国頭村役場は、誇りある森林の仕事に触れられる場所でもあります。

楽園CAFÉ デパートリウボウ2F

那覇市

那覇市久茂地 1-1-1 デパートリウボウ 2F ☎098-867-1171

設計デザイン／Luft 真喜志奈美 制作／大和産業、ゆりあ木工房



沖縄のいいモノとしてPR

那覇市久茂地にあるデパートリウボウの2階にある楽園カフェは、都会の真ん中でありながら、大人のリゾート感あふれる落ち着いた店内が人気。モダンで洗練されたカフェの空間の中央に置かれているのが、20人が一度に着席できるクスノキのロングテーブルです。

「沖縄のいいモノ・日本のいいモノ・世界のいいモノ・からだにいいモノ」をコンセプトに展開する楽園カフェには、カフェの隣にさまざまないいモノをセレクトしたショップも展開。その中でも「沖縄のいいモノを強く発信していきたい」という想いから、店内設備に沖

カフェ中央に設置されたクスノキのロングテーブルは約7m。さまざまな人たちが同じテーブルを囲み、仕事をしたり、おしゃべりを楽しんだり、思い思いに過ごすことができるイメージでデザイン。座り心地のいいイスには、イタジイやクスノキを使用。

縄県産木材を多く取り入れたといえます。

カフェをオープンしてから、県内の方だけでなく、国内外の観光客の方々に実際にテーブルについて、手触りを楽しんでもらうことで、本物の良さを伝えられる機会を作れたと実感しているとのこと。沖縄に素晴らしい木が育っていること、そして木材として活用できることを多くの人に知ってもらおう場となっています。

木になるコラム

02

国頭村の木育



1. 国頭村内の小学校の教室には、県産木を使った児童机とイスが並んでいます。2. 国頭村内で生まれた赤ちゃんに贈られるリュウキュウマツで作られた「やんばるくいなの積み木」。依頼すれば子どもの名前と生年月日を入れることもできるそう。

木に親しみ、森を理解する

県内でもっとも林業が盛んな地域であり、世界遺産登録された森林に囲まれている国頭村では、2013年にウッドスタート宣言をしたほか、村内で赤ちゃんが生まれた時には県産木材を使った積み木を贈るなど、木育に積極的に取り組んでいます。そうした取り組みの一つとして、村内の小学校では入学時に県産木材を使った児童机のパーツを親子で組み立てる体験を実施。組み立てた児童机はその後6年間使用します。児童机の組み立て体験時、実際の作業の前には、使われる木材が苗の状態から成長した大木になり、伐採、製材される過程も紹介されます。

地元産の木で作った机で国頭村の子どもたちが学ぶことは、彼らが地域を愛する気持ちを育むことにもつながっています。

東村立保育所

東村

東村平良 817

設計／株式会社国吉設計



自然と木育につながる空間に

2011年度に開設された東村立保育所は、村内で唯一の木造で建築された保育所です。建物の内装には、沖縄県産木材がたくさん用いられています。

玄関ホール壁面には、リュウキュウマツの壁材、廊下の腰壁や保育室や遊戯室などの壁面には、イジユの壁材が使われています。注目したいのは、使われている木の名前が書かれたシールが壁に貼られていること。こうすることで、子どもたちにも一目で使われている木が分かり、小さな頃から県産木材に親しむきっかけになります。以前はコンクリート造の建物

1. 保育所内の遊戯室。壁面に縦横に組み合わせて使われているのはイジユの木。2. 玄関ホール壁面にはリュウキュウマツが。保育室のやわらかな雰囲気によく合います。3. 東村立保育所の外観。東村役場の向かいにあり、雄大な自然に囲まれた理想的な子どもたちの教育環境。

だったという東村立保育所ですが、木造の建物になったことで、木の温もりが感じられるとともに、この空間で過ごすだけで木育にもつながり、教育環境としても優れたものになりました。園児をはじめ、職員も保護者の方々にとって、心地よく過ごすことができる空間になったといえます。東村の自然に囲まれたのどかな環境の中、子どもたちがのびのびと過ごすことができる保育所です。

TRIVIA
04

利用範囲の広い
フクギは高機能！



生命力が強く、根を切っても芽を出し再生するフクギ。肉厚な葉は潮風害に強く、火災でも燃えにくく、成長すると隣接するフクギ同士で根が合体するため防災効果を発揮します。建築用材にも利用できるほか、庭木としても育てやすく、幹の皮や葉からは黄色の染料が取れ、実は食べることもできます。

TRIVIA
03

巻物の軸にアカギが使われていた!?



平安時代に編さんされた『延喜式』（平安時代の法令集）には、南島の「赤木」が大宰府から中央へ貢進されていたことが記されています。内蔵寮（天皇の宝物・日常用の物品・装束の調達と管理。米倉・物品倉庫の管理を行う）へ納められた後、内匠寮（宮中の調度の制作、装飾を行う）で軸に加工され、親王の位記軸として使用されたそうです。位記とは、位階を授けられる者に与えられる文書のことで、いわゆる巻物のこと。ほかにも、正倉院に納められている経典などの軸にもアカギが使われているものがあるそうです。

OKINAWA WOOD TRIVIA

沖縄の木 豆知識



世界自然遺産にも登録された沖縄の森林には、まだまだ知らないことがたくさん。
南国ならではの気候で育つ沖縄の木々は、県外とはまた違った特徴があります。
読んで楽しい、知ったら誰かに話したくなる、沖縄の木の豆知識をご紹介します。

TRIVIA
06

伊勢神宮の神宝・
太刀にもアカギが!?



伊勢神宮の神宝の一つに赤木の柄の大刀「須我流横刀」があります。文武3（699）年に南島の人々が伊勢神宮などの諸社に奉獻した例があり、こうした奉獻を機に南島のアカギが伝統的に使用されたのではとされています。式年遷宮のたびに、アカギの柄の大刀が作製されているようで、昭和4（1929）年の式年遷宮の際には、首里城下のアカギを伐採製材し奉獻した記録もあるそうです。

TRIVIA
05

日本で一番軽い木、
一番重い木、



沖縄県の県花であるデイゴは春から初夏に赤い花を咲かせる木。やわらかく削りやすいので漆器の木地に使われ、日本一軽い木として知られています。一方、日本で一番重い木の1つと言われるイスノキも沖縄で生育しています。方言名は「ユシギ」で、家具や木刀などに使われる堅い木です。

TRIVIA
02

リュウキュウマツの
木目はいつでもできる？

リュウキュウマツ
の木目にも
いろいろあります



リュウキュウマツの木目を見ると、薄いクリーム色の部分と、くっきりした茶色の部分があります。薄い色の部分は春から夏にかけて作られる木目。茶色は秋から冬にかけて作られます。温暖な沖縄で育つ松の特徴は、木目を見るだけで分かります。

TRIVIA
01

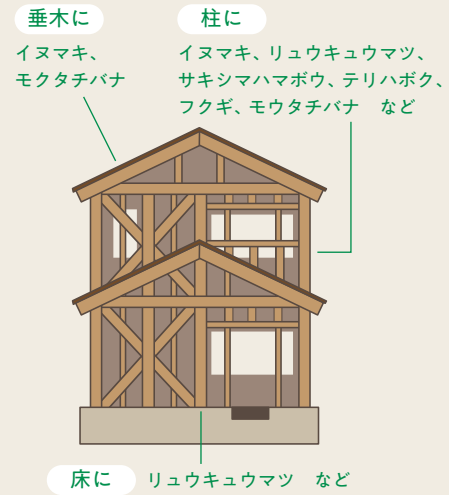
世界でも珍しい
やんばるの森



亜熱帯地域は、地球上で温量指数（暖かさの指数）が180～240の間に分布するといわれ、熱帯の高緯度側の南・北緯20～30度の間の地域が含まれます。さらに、降水量によって湿潤気候と乾燥気候に分けられますが、森林が形成される湿潤なところは亜熱帯地域の3分の1しかありません。海に囲まれた沖縄は、黒潮と季節風、台風により、十分な降水量があることで、森林が形成されています。やんばるの森は、絶妙なバランスの上に成り立っている世界的にも貴重な森です。

TRIVIA
12

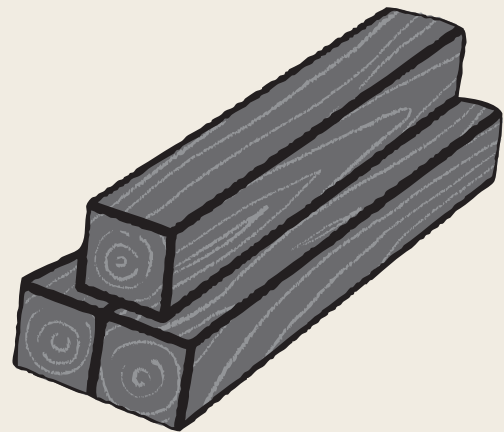
家に使われていた木



昔の家づくりで使われていた木といえば、まずイヌマキが思い浮かびますが、沖縄各地でたくさんの木が使われていたそうです。宮古地域では、柱に使われる木は、垂木を設置するのに都合がよいとして、上部が二股に枝分かれしているものが選ばれていたそうです。枝分かれしていない場合は、まっすぐな木の上部を二つに割って垂木を設置したそうです。

TRIVIA
14

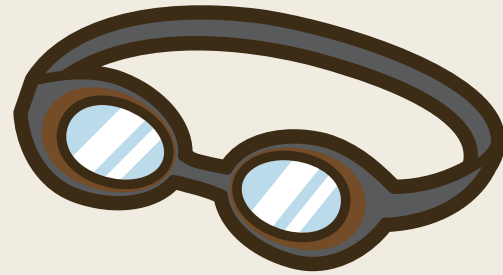
生活の燃料だった薪や木炭



現在でもリュウキュウマツなどが薪に利用されています。レジャーにおいてバーベキューやピザ窯の燃料として利用されたり、やちむんの窯でも薪を燃やし、やちむんを焼くこともあります。石垣島ではテリハボク、宮古島ではガジュマルの木炭も生産されています。

TRIVIA
11

昔の水中めがねのフレームは木製



素潜り漁が盛んに行われていた場所では、サキシマハマボウやモンパノキ、テリハボクやハマシタンなどで水中めがねが作られていました。宮古地域では水中めがねを作る木のことを「ミガニチュフウギー」というそうです。モンパノキは広い地域で水中めがねの材料に使われていて、沖縄本島では「ガンチョーギー」、慶良間では「ミーカガンギー」などといわれていたそうです。テリハボクの樹液はネバネバしていて、水中めがねのフレームとガラスの接着剤としても使われていたそうです。

TRIVIA
13

舟やカイに使われていた木



琉球王国時代は丸太をくり抜いた「丸木舟」がつくられていたそうですが、森林保護のため国が木板を張り合わせた「ハギ舟」を奨励したことからサバニが発達。舟には硬くて強く、水を含みにくい性質が求められ、西表島にはアカギの「くり舟」、宮古地域では舟の竜骨や舟首部分にテリハボク、石垣島では舟を漕ぐカイにモッコクや、舵にサキシマスオウノキが利用されるなど、各地でさまざまな木材が使われました。

TRIVIA
08

ガジュマルは歩く!?



大きく広がった枝からヒゲのような気根を垂らしているガジュマル。気根が成長して地面に到達すると、そこから水や養分を吸収します。ももとの根の部分の栄養が無くなると、気根だった部分が幹となり成長し続けます。そうすると、ガジュマルの木そのものの重心が少しずつ移っていくことになり、まるでガジュマルが歩いているように見えるというわけです。もちろん、長い年月をかけて移動するので、長い時間のかけた貴重な一歩ともいえるかもしれません。

TRIVIA
10

下駄に使われていた木



セندانやデイゴ、マルバチシャノキ、リュウキュウマツなどは、軽くて虫が入りにくいので下駄を作るのに適していたといわれています。県外では、足を乗せる台の部分と地面にあたる歯の部分を作り分けていて、すり減った歯を入れ替える商売があったそうです。沖縄では軽くて柔らかい木材が使われていたようです。

TRIVIA
07

天然記念物たちが住む木



やんばるの森に多く育つイタジイは、秋になるとどんぐりの実をつける、動物たちにとってありがたい木です。天然記念物で沖縄県の県鳥、東村の村鳥でもあるノグチゲラやヤンバルテナガコガネたちの住みかでもあります。

TRIVIA
09

道具の柄に使われていた木



昔は農作業に使うクワやカマなどの道具は自分たちで作り、その柄には身近な木が使われていました。求められていたのは、弾力があり折れにくく、軽くて手触りが良く、汗を吸い滑りにくい木。テリハボクはクワに、ゲッキツは刀やカマに、マルバチシャはヘラの柄に使われていたそうです。

沖縄、ウッドスタート宣言しました！



1.県内各地で「木育キャラバン」を実施。2.沖縄の工芸作家が集うイベント「ウディフェア」でワークショップを開催。3.木のおもちゃで遊ぶ子ども。4.那覇空港ふくぎホールに県産木材のテーブルセットを展示。5.県民の森「木のふれあい館」のたまごプール。6.イオンモール沖縄ライカムにて県産木製品の休憩スペースを設置。7.子ども向け森林散策ツアー。8.首里城公園で木育キャラバン。9.木育に携わる方向けに木育セミナーを開催。

ウッドスタートとは



2023（令和5）年1月に、次世代を担う沖縄の子ども達に木工体験や木製玩具で遊ぶ機会を提供し、県産木材の利用推進に取り組むこととした「沖縄県ウッドスタート宣言」を行いました。

暮らしに木を取り入れる

県土の約半分は森林に覆われ、2021年には、やんばるの森を含む沖縄島北部及び西表島の貴重な生物の多様性が認められ、ユネスコ世界自然遺産に登録されました。沖縄の森林は琉球王国時代から適正に管理され、守られてきた歴史があります。そんな世界に誇る沖縄の森で育った樹木を幼少期から身近に感じてもらうため、令和5年1月に沖縄県は「ウッドスタート宣言」を行いました。

ウッドスタート宣言は、豊かな自然や身近にある木と触れて、さまざまな世代の人たちが木の良さを知り、暮らしに取り入れることで、地域の材木製品の消費を増やし、それにより森を育て、守るという循環型社会を築くことを目的としています。これに基づき、沖縄県では「木育キャラバン」として、沖縄県産木で作られた移動型のおもちゃ美術館を県内各地で実施するなど、木の良さに気づききっかけの場づくりをしています。森と人のつながりを知り、自然との関わりを主体的に考える心を育む機会を今後も増やしていく取り組みを行います。

15 木から生まれるから木の子!?



県産木材の「おが粉」を使って生産したきのこにはロゴマークがついています

さまざまな生き物を育む場となる森林ですが、木々があるおかげで生まれるものの一つに、きのこがあります。森林の中で育つきのこが倒木や切り株などによく生えることと、工場などで栽培されるきのこに木を粉碎した「おが粉」を利用した菌床が使われることなどから、きのこは「木の子」と書かれるのかもしれませんが。きのこをはじめ、森林があることで得られる木材以外の産物を、林業では「特産林産物」と呼びます。



しいたけ

菌床に木材チップである「おが粉」を使い栽培しています。



ぶなしめじ

設備の整った栽培工場で量産されています。県内の産地は国頭村。



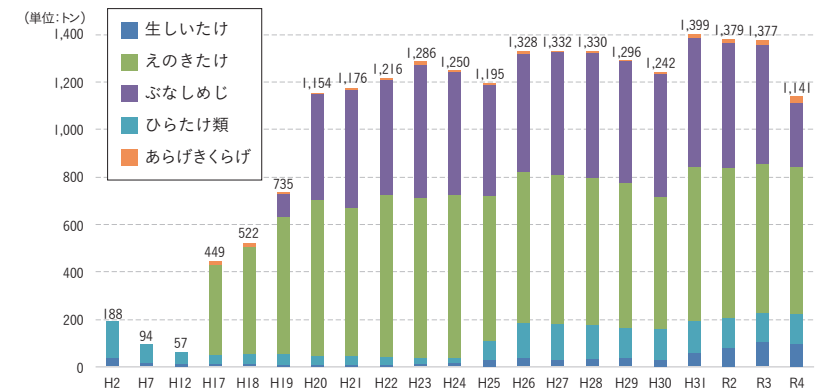
えのきたけ

産地は今帰仁村。ぶなしめじと並んで生産量が多いきのこです。

沖縄のきのこの生産量

施設の完成で生産量アップ きのこの消費量も増えています

スーパーなどで沖縄県産のきのこが手軽に買えるようになったのはここ数年のこと。2022年現在、県内の生産施設で栽培されているのは、えのきたけ、ぶなしめじ、しいたけ、エリンギ、あらげきくらげ、くろあわびたけの6種類。これにより生産量も年々増加しています。



森の恵みにはさまざまなものがあります



木炭

BBQの際の燃料や、沖縄の線香、そして除湿剤に使われる木炭。沖縄県産木を炭焼き窯で焼いて作られています。



タケノコ

台湾生まれのマチクというタケノコを栽培、漬物に加工して販売しています。



カラキ茶

沖縄ニッケイと呼ばれ、樹皮や葉っぱに爽やかな香りがあります。



オオタニワタリ

主に八重山地方で若芽が食べられている野草。食感の良さが人気です。

 このマークがあるものは次ページで作品を見ることができます

組合

沖縄県ウッドクラフト事業 協同組合

屋宜 政廣

 〒904-2143 沖縄市知花5-24-8
 090-2515-0052

沖縄県森林組合連合会

 〒901-1101 南風原町字大名95-1
 098-888-0676
 https://okishinren.jimdofree.com/
 okishinren

企業組合キンモク

 〒904-1201 金武町金武10392-4
 098-968-6767

国頭村森林組合

 〒905-1427 国頭村字与那1258
 0980-41-5421

宮古森林組合

 〒906-0007
宮古島市平良字東仲宗根968-3
宮古林業総合センター2F
 0980-73-8191
 https://miyako-forest.com/

八重山森林組合

 〒907-0023
石垣市字石垣1396-2
 0980-82-4097
 https://yaeyamashinrin.jimdofree.com/
 yaeyama_shinrin

ショップ

コザ工芸館ふんどう

 〒904-0004 沖縄市中央1-14-15
 098-934-2213
 https://fundou.jimdofree.com/
 fundou2213

山原工藝店

山上 晶子

 〒905-1303 大宜味村喜如嘉2083
(喜如嘉翔学校内)
 0980-43-0898
 https://kijoka-sho.jp/yanbarucraftworks/
 yambarucraftworks

有限会社大和産業

大城 博

 〒901-0243 豊見城市上田515-8
 098-856-2779
 http://daiwasangyo.biz/
 omekashikojoyo

Room417

新田 喜記

 うるま市
 room417@outlook.jp
 room417.okinawa

離島

五え松工房

宮良 耕史郎

 〒901-3136 久米島町仲地184-5
 090-1946-6960
 https://goematsukobo.tumblr.com/
 goematsu

studioゆい

小川 京子

 〒906-0013
宮古島市平良字下里549
 090-1942-8965

トマイ木工所

戸眞伊 擴

 〒907-0023 石垣市石垣524-81
 0980-82-4362

宮古木工芸

与儀 昌樹

 〒906-0013
宮古島市平良下里2616-4
 0980-73-3001
 https://www.miyako-mokkougei.jp/
 http://www.miyako-mokkougei.com
 miyakomokkougei

有限会社うえざと木工

東上里 和広

 〒907-0023 石垣市字石垣1838
 0980-83-3028
 https://www.uezato-wood-work.com/
 uezato_wood_work

まっくる屋工房

伊礼 聡、伊礼 範雄

 〒901-0616 南城市玉城前川419-1
 098-948-3379
 http://maccuruya.com/
 maccuruya

木工家具 杉の

杉野 義則

 〒901-0153 那覇市宇栄原2-20-5
 098-858-2075
 sugino78

木好房

富名腰 朝竹

 〒904-0034 沖縄市山内2-4-18
 090-3795-1780

木工房 木妖精(きじむなゐ)

外間 則道

 〒903-0125 西原町上原75-1
 090-8294-1025

木工房 木彫屋

森長 武一

 〒901-0611 南城市玉城富里91
 090-8292-9153
 mudiaowu

木工房 秀暖～SHUUDAN～

ブレグマン ドナルド

 〒904-2173
沖縄市比屋根7-30-27
 090-3797-7112
 shuudanwoodworking

木工房ひかり

岩田 望美

 糸満市喜屋武
 mkb.hikari@gmail.com
 mkkobohikari

木工房もり～む

盛根 理恵

 うるま市
 moream5

Techura works

高橋 哲平

 那覇市
 techuraworks@gmail.com
 https://techuraworks.theshop.jp/
 techura

手作り工房 トントンハウス

島田 朝秀

 〒904-2142 沖縄市字登川3169
 098-937-2525

てるる詩の木工房

高良 輝幸

 〒904-2232 うるま市川田416-1
 098-974-1780
 https://www.tategoto.okinawa/
 teruru_utanoki_koubou

桃原木

桃原 司

 〒901-2203 宜野湾市野嵩2-11-2
 090-3796-2850

にゃあんと工房

鈴木 弘

 〒904-2171 沖縄市高原6-20-16
 080-9852-8169

b12

島袋 勝ツ也

 〒901-2131 浦添市牧港2-49-13
 https://40-296.com/


ひつじ工芸舎

永尾 陽祐

 〒901-0403
八重瀬町字世名城1569-2
 090-4299-9367
 studio_sheep.okinawa

Pua melia

大城 欣哉

 〒904-0328 読谷村字宇座328-1
 070-5810-4292
 puameliaukuleleshop
 shuli_ukulele

くるんクラフト

比嘉 繁伸

 〒901-2224
宜野湾市真志喜1-9-5 101
 090-8667-9834

GRAIN

小橋川 剛右

 〒901-0416
八重瀬町字宜次703-1 2F
 098-998-1743
 https://www.ryukyu-grain.jp/
 grain_okinawa

工房 地球のかげら

古我知 毅

 〒901-0404 八重瀬町高良338
 090-9782-7312
 tuyoshikogachi

工房 島変木

屋宜 政廣

 〒904-2143 沖縄市知花5-24-8
 090-2515-0052
 tohenboku888@gmail.com

工房 むりトン

森田 哲也

 〒901-0516
八重瀬町字仲座834-2
 098-998-0507
 https://nuriton.jimdofree.com/
 nuriton_okinawa

太平木工事業協同組合

宮里 善作

 〒901-1101 南風原町字大名95-2
 098-888-6437

知念パネル

知念 兼秀

 〒901-0336 糸満市真壁1195-7
 090-7587-5732
 https://chinenpanel.jp/
 chinenpanel

うりぼう

瓜田 一

 〒901-1207
南城市大里古堅1049-5
 090-6859-6048
 uriboufurniture

おと木工

杉山 允也

 〒901-0335 糸満市米須147
 otomokko

ObimWood furniture

野原 栄太

 〒904-0103 北谷町桑江625-8
 090-7984-6309
 obim.wood.furniture@gmail.com

家具工房 KAN

石川 寛

 〒901-2102 浦添市前田411-1
 090-3191-1627
 https://kfurniture.ti-da.net/
 kagukouboukan / okikijimuna

家具家

 〒901-0213 豊見城市高嶺77
 098-851-4015
 kaguyanokagu

かねせん工房

千木良 芳弘

 〒904-2165 沖縄市宮里2-19-7
 098-938-7040
 https://kanesenkobo.jimdofree.com/

株式会社三栄木工所

比嘉 幸夫

 〒904-2143 沖縄市知花5-27-11
 098-938-2745
 sanei123@herb.ocn.ne.jp

tms(株式会社玉城木工商店)

 〒901-0511 八重瀬町字港川128
 tms.okinawaworks@gmail.com
 tms.okinawa

洋屋

野田 洋

 国頭村
 yanbaru.n15@gmail.com

Horywood工房

大堀 美知雄

 〒905-1155 名護市我部祖河149-1
 0980-54-3308
 https://www.horywood.net/
 horywood

木漆工とけし

渡慶次 弘幸

 名護市
 mail@tokeshi.jp
 https://www.tokeshi.jp/
 mokushikkou_tokeshi

木工房 棕

山川 均

 〒905-1303
大宜味村喜如嘉2130
ティコラボ会館
 090-8294-7050

中南部

AGESBASE

阿慶田 博之

 〒901-0241
豊見城市豊見城1114-1
(おきなわ工芸の杜内)
 070-3802-4488
 agesbase.okinawa@gmail.com

ABECRAFT

阿部 誠司

 〒901-0611 南城市玉城富里197-1
 090-1946-2333
 seiji_abe1973

あやのき

前野 綾歌

 〒901-0403
八重瀬町字世名城1569-2
 http://ayanoki.mana-design.work
 nohohon028

森林環境税と森林環境譲与税とは？

譲与税の4つの用途／



森林整備



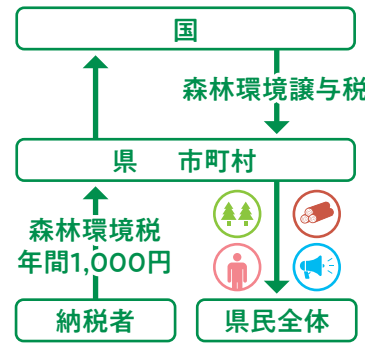
木材利用



人材育成



普及啓発



市町村による森林整備の財源確保を目的に、令和元年度から森林環境譲与税の譲与が始まり、令和6年度からは森林環境税として、納税者から年間1,000円の徴収が始まっています。譲与税の使用目的は、森林整備、木材利用、人材育成、普及啓発の4つです。県内の各市町村では、これら4つの取り組みを通じて、沖縄の森林の有効活用および未来へ残す取り組みを行っています。

有効活用し、豊かな森を育む

森林環境譲与税は、このように使われています

防風林の植栽
伊江村

森林整備

園児用テーブル、木製玩具
嘉手納町

木材利用

林業従事者への支援
国頭村

人材育成

木工体験、パネル展示
宜野湾市

普及啓発



洋屋



K studio



あやのき



ABECRAFT



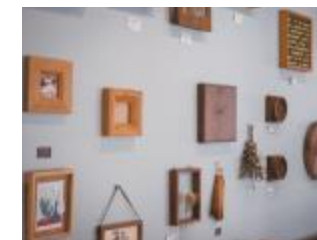
木漆工とけし



Horywood工房



tms



家具家



おと木工



うりぼう



b12



知念パネル



工房 めりトン



GRAIN



木工房ひかり



木工家具 杉の



まっくる屋工房



ひつじ工芸舎



五え松工房



Room417



有限会社大和産業



木工房もり〜む